

2024 年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢のふり返り（教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。
学科の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）については、本学ホームページ（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/dr.html>

学科・研究科専攻名 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

- ・分析対象の内訳：回答率は、1 年生 100%、2 年生 57%、3 年生 48%、4 年生 88%であり、2 年生および 3 年生の回答率が低調であった。
- ・全体的な傾向・充足度合：1 年生～4 年生の各学年において、各項目のスコアが中間点である 3.0 を大きく越え、多くは 4.5～5.0 の間の結果となった。学年が上がるに従い各項目のスコアが高くなる傾向があり、学生生活において学業を含む様々な経験により人間性や学ぶことへの取り組み等が高まっている結果、各学年それぞれの教育課程において学生それぞれが真摯に取り組んでいる結果であると考え。教育課程の編成・実施の方針はほぼ適切に満たされていることが伺われる。今回、2 年生および 3 年生の回答率が低かった。全体的な傾向を適切に捉えるために、次年度以降の回答率を上げていくことが求められる。
- ・前年度との比較：すべての項目で前年度と大きな変動は認められず、高いスコアを維持できている。今後も社会情勢や学生状況を踏まえながら、学位取得のための教育課程を必要に応じて見直していく。

